

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 1階		
所在地	富士市大淵352-2		
自己評価作成日	平成31年2月6日	評価結果市町村受理日	平成31年3月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail/2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail/2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成31年2月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様の希望を叶えたい！！との職員の思いより、お客様の言葉を書き留めたノート「まるこノート」を作成、言葉で表現できないお客様に関しては、ご家族よりご希望を伺い、思いを形にする企画を今年より度実施しております。又お客様担当者が外出企画を立て、18名全員が誕生日月に外へ出かける仕組み作りや企画の様子や笑顔写真を写真に収め玄関先に掲示した「笑喜フォト」生活機能向上を目指し、隣接する病院のリハビリ職員が来訪され、体操のプログラムやシーティング、介助方法、福祉用具についての指導やアドバイスを受け、専門職との連携を取りケアの向上に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年9月に新管理者を迎え、もともと此処で働く仲間であったことから、フロアの空気も和やかで伸び伸び感に満ち、職員の振る舞いに活気がみられます。掲示物もデコレーションや色彩に弾みが出ていて、「思い立ってのレクリエーションが増えている」ことから職員の意欲増幅が伝わります。利用者がふと零した言葉を拾ったり、「食べたいものは？」と尋ねたり、旅番組観賞で行きたい場所を探るといった「想い探し」が始まり、まるこノートと名づけて記録を残しています。フォーマットには「(想いが)叶った日」の項目があり、「深海プリン食べたい」「花鳥園行きたい」が次々と実現していて、「焼き芋食べたい」は全体の焼き芋大会に発展しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関先に理念の掲示を行っており、下期・上期の自己評価の際、理念に沿った仕事が出来ているかの確認と評価を実施しています。	「ゆったり〜」の事業所理念は掲示し、新採者のオリエンテーションでは法人理念とともに時間をかけて説明しています。新管理者の「自分の思うようにやっていいんだよ」と呼びかけが功奏して、自発的なレクリエーション運営が増えており、理念推進のメリハリとも成っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の「いきいきサロン」「つぼみの会」へ参加させて頂いております。	民生委員や婦人会の皆さんが開いている「いきいきサロン」へはイベントに乗じて遊びに寄らせてもらえ、「つぼみの会」にはレクリエーション参加で数ヶ月に1度気分転換にと出かけ、地域のお年寄りとの交流を日々継続しています。	子ども神輿へおひねりは出しているとのことですが、ふれあいがあるよう、利用者が子どもたちに菓子など手渡せたら良いと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中・高生のサマーショートボランティアの受け入れ、職員が認知法サポーター(4名)となり活動を行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議を実施、民生委員さん来訪、自施設の報告のみではなく、実際に行った施設内勉強会資料を添付し内容の紹介や分析結果をお伝えしている又、地域との連携依頼を実施している。	新管理者が民生委員へ挨拶に出向き、2名での参加が叶い、メンバーが増えていきます。法人の新人紹介のDVDを觀賞したり、手洗いチェッカーを使う体験型の感染症勉強会をおこなう等、弾みのある内容へ発展している事を議事録にて確認しました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2か月に1度の運営会議内にて、定期的な介護保険課職員の方の参加がある。相談等がある際はその都度電話や窓口相談をしに伺っている。	運営推進会議には富士市介護福祉課、北部地域包括支援センター職員の参加を毎回得ており、事業所も集団指導には必ず出席するなど、連携に努めています。また地域包括支援センターから要請のある認知症サポーター養成講座は、毎年小学校へ出向き協力しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中外に出て行かれるお客様がいますが、施錠等はせず、職員がそばに寄り添いながら、対応をしている。事業部にて拘束廃止委員会を発足、定期的に委員会を実施、施設内勉強会を行い拘束をしないケアの共通認識を行っている。	本年度の法改正については指針を作成して、法人内のグループホームから委員を選出して会議運営をおこなうとともに、職員には小テストを実施して学ぶ機会を更に増やして、力を注いでいます。また学びの内容は運営推進会議でも発表して共有しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を年間計画に組み込んで入浴時等お客様の身体観察に努めています。アザ等を発見した際は、インシデント報告書に記載するようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設け、研修参加を行う様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の日時等、利用者ご家族へご都合を伺い時間に余裕を持ち設定・説明をし、同意を頂いてい。説明後疑問や質問時間を設け、内容をご理解して頂いているかの確認を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の要望等には迅速に対応を行う様に努めています。年4回の家族会の際も昼食の時間を使いお客様やご家族様の声を聴くように努めています。	いちご狩り、BBQ、クリスマス会、敬老会と併催する家族会には毎回10名前後の家族が訪れていて、孫やひ孫連れの人もあります。毎月手書きのお便りを個別に届けていましたが、今年1月からは「今月の体調」の項目を加えて密にしており、信頼につなげています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や職員全体会議内にて意見や提案を聞き、反映を行っています。	職員の全体会議とともに、リーダー、サブリーダーに部長や病院事務長も交えての運営会議もあり、縦横の報連相を確かにしています。現場にいた新管理者とあって、「言いやすい」「わかってくれていて安心」との声も職員から挙がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	目標面談や随時個人面談等にて思いを聞き評価やアドバイスを行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修参加計画をたてて、研修参加への促しを行なっている入職者や異動職員に対しプリセプターを付けOJTチェックシートを用いてトレーニングを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会へ参加、他事業所との交流会を開催、意見交換をしサービスの向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にお客様本人、ご家族と面談をし生活状況の把握やご要望をお聞きし安心して生活をして頂けるよう配慮しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様本人や、ご家族には、要望等いつでもご相談いただける様、関係づくりを行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況等を家族に伺い情報共有を行いながら、その方に合ったサービス提供が行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様の目線に合わせ会話をし、時には冗談を言い合いながらお互いに笑い、馴染みの関係となれるような関係づくりを行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当職員が毎月お便りを発行、日々の様子を写真に乗せお伝えしています。面会時には対応職員が生活状況や身体面での様子を報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に制限がないかの確認を入居時や来訪時にご家族へ伺い、可能な限り対応しています。意思疎通が図れないお客様に対しては職員が言葉の橋渡しを行ったり、生活状況等について報告を行っています。ご家族へも来訪時の様子を伝えていきます。	家族がアクリル毛糸を郵送くださり、利用者本人が小さなパーツをたくさん編んだ後、職員が1枚のロープ状につないで仕上げる手伝いをするといった例もあり、家族と職員が連携することで習慣や趣味が継続されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	企画の実施時や歌の会(ボランティア・職員)等1・2階のお客様との交流の機会を作っています。席の配置にも配慮を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前は退去されやご家族の来設があったが現在はいない状況です。今後その様な事がある際は暖かく対応していきたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	想いや希望を伝えられないお客様にはご家族に伺いながら、プランへの反映サービスの提供を行っています。希望を書き留めノートの記入と企画の実施を行っています。	『まるこノート』は利用者本人の想いを叶えるだけでなく、家族の考えを整理したり、希望を聞くことにもつながっています。「正月に泊まってもらいたい(でも大丈夫かしら?)」との家族の声から、「お家に帰ろう~」企画が、実現に向けて新たに始動しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご自宅や、施設に伺い本人やご家族に聞き取り調査を行い、アセスメントシートに聞き取った情報をまとめ、申し送りに書類添付職員閲覧し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録やアセスメント、食事・バイタルチェック表に状況を記載し、状態把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会、ケアプラン説明時等 ご要望を伺う、答えられるお客様には何気ない会にて聞き取りを行っています。	文章で書いていたモニタリングシートを变形させ、一目で把握できるよう図案化した「ケアプラン担当者評価シート」をオリジナル制作し、居室担当者が変更案を記載しています。またサービス内容の変更においても赤文字として注視しやすくさせている点も目を惹きます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや生活記録、担当職員のケアプラン評価時等、記録や記載をし、職員間で情報の共有や計画書への反映を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急変時等、ご家族へ早急に連絡を入れ退院への職員受診同行など、柔軟な対応を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の児童クラブの7月の来訪や近隣の中学校からのボランティア、保育室の園児の定期的な来訪があり、お客様の笑顔もいつも以上に多くあり喜ばれております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、本人やご家族様の同意を得て訪問診療を受けています。外来受診が必要な際は訪問診療後に早急に検査を実施して下さっています。又ご家族様へも随時状況報告を行っています。	18名全員の利用者が系列の協力医に変更しています。ここ数年利用者の入れ替わりがなく、事業所では大事に至る手前で医師に相談できることが要因ではないかと考えており、それも願えるほど目と鼻の先に母体病院が在ります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録シートにて、日常の様子や相談を記載し、2週に1回訪問看護師に観察をして頂いており、主治医へ報告を行い受診や訪問診療へ繋げて下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様が入院した際は、定期的に面会へ行き担当医師や看護師へ状況を伺い、連携に努め退院までの調整を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明がされ、管理者・施設ケアマネージャーも同席させて頂き、終末期の方針について共通認識を行うようにしています。職員へも申し送りや職員会議を通じ情報の共有を行っています。	新採者はあらかじめOJTが終了して「いざ夜勤を」という段階になると、看取り、緊急時の対応についてのレクチャーを受けることになっていて、全ての職員が本件の研修を受講済みであり、また大半の職員が経験者であることも安心材料です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応について、マニュアルを活用し実践しております。夜勤業務開始前には看取りケアについてや急変時の対応について、勉強会や理解度テストを行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内の定期的な防災訓練や安否コールテストが実施出来ている。地域との合同訓練は出来ておらず課題ではあるが、来年度参加させて頂きたいことを運営推進会議内にて依頼しています。	連絡網、夜間召集、水災害、火事・地震の訓練を年4回おこなうとともに、年6回携帯アプリを使った安否コールテストを防災委員会が執り行っています。また「来年は地域の防災訓練にも利用者と参加予定です」と、運営推進会議でも打診済みです。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様へのプライバシーや羞恥心へ対応見守り時の声掛け等に配慮する様職員間で心がけています。	「写真公開がOKか」の確認は入居時におこない、ブログ掲載はイニシャルです。トイレ及び居室のドアの開閉、同性介助といった一般的な配慮とともに、羞恥心の強い人には脱衣所から浴室までのほんの数歩の移動でもバスタオルで覆ってもらう等、気遣っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常での会話の中から、お客様の思いや希望をくみ取れる様、コミュニケーションを常に取っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の生活リズムに合わせ、職員も同様にお客様と関わられる様に努めています。入浴希望等、お客様の声を大切にする取り組みを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の天候や気分、外出時等に配慮した服選びを行っている。美容師さんが施設へ来訪して下さりカットやカラーをして下さり隣接する病院内の、美容室へ行きカットを受ける事もあります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳時、内容に合わせて食器を変えたり盛り付けに配慮しています。後片付け等職員と共にってはいますがお客様のADLの低下と共に以前よりも活動出来るお客様が減少している傾向にあります	刻み、とろみ、ミキサーとなり完全介助の必要な人が5名、その他にも飲み込み確認等の見守りが求められるものの、職員も間に入り食卓を囲む、和やかな食事風景です。下膳はそれぞれのタイミングでできる人はおこなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスについては食材会社を利用している事により確保が出来ていません。食事量や水分摂取量は記録へ記載し、申し送りにて情報共有をし、気になる点は訪問看護師や主治医へ相談を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一日(3回)口腔ケアを行っています。お客様ご自身で歯磨きを行う際もさりげなく観察をし、不十分な際は声を掛けたり職員が仕上げ磨きを行います。口腔内の相談は訪問歯科へ行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お客様に合わせた排泄パターンを把握し本人の要望に合わせた対応を行っています。全介助のお客様に対しては、職員2名にて立ち上がりの介助を行い、トイレでの排泄が出来る様ケアを行っています。	自立の人は本人が申告くださるので、ほぼ全員の排泄チェック表が記録されていますが、定時誘導やリズムを掴んで促すということはず、本人の表情や癖を読み取って支援しています。排泄用品の向上についても無理せず、維持が叶えばヨシとして、本人本位に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別に歩行運動のプログラムを組んだり食事以外にも、10時15時等こまめに水分の摂取が出来るようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調不良やバイタルの状況以外は特に曜日等の制限はなく、お客様のご要望に沿えるように対応しています。	週2日を目安としていますが、「入りたい」希望には随時応え、現在毎日入浴している利用者が2名います。「ゆ」といった愛らしい暖簾がかかる等「楽しい入浴を」の意識は高く、来年度は「昔ながらの行事をやっていこう」と考えていて、菖蒲湯や柚子湯の日が待たれています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や、就寝時のタイミングを計り対応を行っています。日中は体操やレクリエーションの活動時間を作っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の変更があった際は、申し送りファイルに処方箋のコピーを添付し、気を付ける点などは記載し、職員間で情報の共有に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事活動を行って下さった際など、お客様へ感謝の言葉を掛ける事が、職員間で浸透しています。ご家族より依頼を受けた嗜好品等の管理や支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	お誕生日企画での外出やご家族も企画へ参加していただける様、声を掛けています。天気がいい日は外気浴をしたり、散歩が毎日の日課となっているお客様もおります。	散歩では目前に在る病院の外周を巡り、様々な季節の樹木や富士の山を眺めています。「アイス食べに～」といったミニドライブを重ね、少し足を延ばして朝霧のミルクランドや花鳥園にも出かけ、居室担当者誕生日月にペアで出かけるのも楽しみの一つです。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にて、ご自身で現金を持っている事お預かり金を施設内で預かる事は行っておりません。企画時やお客様からのご要望、ご家族からのご要望がある際はご家族より同意を得て、施設の立て替えとして対応させて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりは、手紙の投函依頼を受け職員が対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明交換は男性職員へ依頼し、難しい作業が伴う内容については、隣接する病院の修繕の担当者への依頼を行っています。四季を感じていただける様、フォト掲示や壁面の飾りを工夫しています。	掃除に課題があったため、若い職員にもスムーズにできるよう道具を買い換えるといった対策を立てて改善しています。インフルエンザの流行も気になるため湿度計も置いたり、大停電のことを聞いているので交換時にはLEDとしたり、次亜塩素酸を噴霧する機器も購入しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内にベンチやソファが置いてありお仲間や職員との楽しいおしゃべりに花をさかせる事もあります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用していた馴染みの物を持参していただける様、ご依頼を行っています。	「夜間のトイレが頻回となった利用者にはトイレに近く、職員の目が行き届く居室に替わって欲しい」ということが先にあり、一方で「重度化して終日ベッドの利用者が日差しの強めな居室では体力消耗が気になる」と、双方の家族に申し入れ、居室交換に至った例もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が自立し、危険が無いように生活が出来る様、動線の確保に注意をしています。手すり等の変更や追加も適宜行っています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 2階		
所在地	富士市大淵352-2		
自己評価作成日	平成31年2月6日	評価結果市町村受理日	平成31年3月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2272300738-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成31年2月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様の希望を叶えたい！！との職員の思いより、お客様の言葉を書き留めたノート「まるこノート」を作成、言葉で表現できないお客様に関しては、ご家族よりご希望を伺い、思いを形にする企画を今年度実施しております。又お客様担当者が外出企画を立て、18名全員が誕生日月に外へ出かける仕組み作りや企画の様子や笑顔を写真に収め玄関先に掲示した「笑喜フォト」生活機能向上を目指し、隣接する病院のリハビリ職員が来訪され、体操のプログラムやシーティング、介助方法についての指導やアドバイスを受け、専門職との連携を取りケアの向上に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年9月に新管理者を迎え、もともと此処で働く仲間であったことから、フロアの空気も和やかで伸び伸び感に満ち、職員の振る舞いに活気がみられます。掲示物もデコレーションや色彩に弾みが出ていて、「思い立ってのレクリエーションが増えている」ことから職員の意欲増幅が伝わります。利用者がふと零した言葉を拾ったり、「食べたいものは？」と尋ねたり、旅番組観賞で行きたい場所を探るといった「想い探し」が始まり、まるこノートと名づけて記録を残しています。フォーマットには「(想いが)叶った日」の項目があり、「深海プリン食べたい」「花鳥園行きたい」が次々と実現していて、「焼き芋食べたい」は全体の焼き芋大会に発展しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関先に理念の掲示を行っており、下期・上期の自己評価の際、理念に沿った仕事が出来ているかの評価を実施しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の「いきいきサロン」「つぼみの会」へ参加させて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中・高生のサマーショートボランティアの受け入れ、職員が認知法サポーター(4名)となり活動を行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議を実施、民生委員さん来訪、自施設の報告のみではなく、実際に行った施設内勉強会資料を添付し内容の紹介や分析結果をお伝えしている又、地域との連携依頼を実施している。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2か月に1度の運営会議内にて、定期的な介護保険課職員の方の参加がある。相談等がある際は、その都度電話や窓口で相談をしに伺っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中外に出て行かれるお客様がいますが施錠等はせず、職員がそばに寄り添いながら対応をしている。事業部にて拘束廃止委員会を発足、定期的に委員会を実施、施設内勉強会を行い拘束をしないケアの共通認識を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を年間計画に組み込んでいます。入浴時等お客様の身体観察に努めています。アザ等を発見した際は、インシデント報告書に記載するようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設け、研修参加を行う様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の日時等、利用者ご家族へご都合を伺い時間に余裕を持ち設定、説明をし同意を頂いている。説明後疑問や質問時間を設け、内容をご理解して頂いているかの確認を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の要望等には迅速に対応を行う様に努めています。年4回の家族会の際も昼食の時間を使い、お客様やご家族様の声を聴くように努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や職員全体会議内にて意見や提案を聞き、反映を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	目標面談や随時個人面談等にて思いを聞き評価やアドバイスを行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修参加計画をたて、研修参加への促しを行なっている。入職者や異動職員に対しプリセプターを付けOJTチェックシートを用いてトレーニングを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会へ参加、他事業所との交流会を開催、意見交換をしサービスの向上に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にお客様本人、ご家族と面談をし生活状況の把握やご要望をお聞きし安心して生活をして頂けるよう配慮しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様本人や、ご家族には、要望等いつでもご相談いただける様、関係づくりを行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況等を家族に伺い情報共有を行いながら、その方に合ったサービス提供が行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様の目線に合わせ会話をし、時には冗談を言い合いながらお互いに笑い、馴染みの関係となれるような関係づくりを行っています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当職員が毎月お便りを発行、日々の様子を写真に乗せお伝えしています。面会時には対応職員が生活状況や身体面での様子を報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に制限がないかの確認を入居時や来訪時にご家族へ伺い、可能な限り対応しています。意思疎通が図れないお客様に対しては職員が言葉の橋渡しを行ったり、生活状況等について報告を行っています。ご家族へも来訪時の様子を伝えていきます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	企画の実施時や歌の会(ボランティア・職員)等1・2階のお客様との交流の機会を作っています。席の配置にも配慮を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前は退去されやご家族の来設があったが現在はいない状況です。今後その様な事がある際は暖かく対応していきたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	想いや希望を伝えられないお客様にはご家族に伺いながら。プランへの反映サービスの提供を行っています。希望を書き留めノートの記入と企画の実施を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご自宅や、施設に伺い本人やご家族に聞き取り調査を行い、アセスメントシートに聞き取った情報をまとめ、申し送りに書類添付職員閲覧し把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録やアセスメント、食事・バイタルチェック表に状況を記載し、状態把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会、ケアプラン説明時等 ご要望を伺う、答えられるお客様には何気ない会話にて聞き取りを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや生活記録、担当職員のケアプラン評価時等、記録や記載をし、職員間で情報の共有や計画書への反映を行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急変時等、ご家族へ早急に連絡を入れ退院への職員受診同行など、柔軟な対応を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の児童クラブの7月の来訪や近隣の中学校からのボランティア、保育室の園児の定期的な来訪があり、お客様の笑顔もいつも以上に多くあり喜ばれております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、本人やご家族様の同意を得て訪問診療を受けています。外来受診が必要な際は訪問診療後に早急に検査を実施して下さっています。又ご家族様へも随時状況報告を行っています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録シートにて、日常の様子や相談を記載し、2週に1回訪問看護師に観察をして頂いており、主治医へ報告を行い受診や訪問診療へ繋げて下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お客様が入院した際は、定期的に面会へ行き担当医師や看護師へ状況を伺い、連携に努め退院までの調整を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明がされ、管理者・施設ケアマネージャーも同席させて頂き、終末期の方針について共通認識を行いようとしています。職員へも申し送りや職員会議を通じ情報の共有を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応について、マニュアルを活用し実践しております。夜勤業務開始前には看取りケアについてや急変時の対応について、勉強会や理解度テストを行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内の定期的な防災訓練や安否コールテストが実施出来ている。地域との合同訓練は出来ておらず課題ではあるが、来年度参加させて頂きたいことを運営推進会議内にて依頼しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様へのプライバシーや羞恥心へ対応見守り時の声掛け等に配慮する様、職員間で心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常での会話の中から、お客様の思いや希望をくみ取れる様、コミュニケーションを常に取っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の生活リズムに合わせ、職員も同様にお客様と関わられる様に努めています。入浴希望等、お客様の声を大切にする取り組みを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の天候や気分、外出時等に配慮した服選びを行っている。美容師さんが施設へ来訪して下さりカットやカラーをして下さり隣接する病院内の、美容室へ行きカットを受ける事もあります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳時、内容に合わせて食器を変えたり盛り付けに配慮しています。後片付け等職員と共に行ってはいますがお客様のADLの低下と共に以前よりも活動出来るお客様が減少している傾向にあります		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランスについては食材会社を利用している事により確保ができています。食事量や水分摂取量は記録へ記載し、申し送りにて情報共有をし、気になる点は訪問看護師や主治医へ相談を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一日(3回)口腔ケアを行っています。お客様ご自身で歯磨きを行う際もさりげなく観察をし、不十分な際は声を掛けたり職員が仕上げ磨きを行います。口腔内の相談は訪問歯科へ行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お客様に合わせた排泄パターンを把握し本人の要望に合わせた対応を行っています。全介助のお客様に対しては、職員2名にて立ち上がりの介助を行い、トイレでの排泄が出来る様ケアを行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別に歩行運動のプログラムを組んだり食事以外にも、10時15時等こまめに水分の摂取が出来るようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調不良やバイタルの状況以外は特に曜日等の制限はなく、お客様のご要望に沿えるように対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や、就寝時のタイミングを計り対応を行っています。日中は体操やレクリエーションの活動時間を作っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の変更があった際は、申し送りファイルに処方箋のコピーを添付し、気を付ける点などは記載し、職員間で情報の共有に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事活動を行って下さった際など、お客様へ感謝の言葉を掛ける事が、職員間で浸透しています。ご家族より依頼を受けた嗜好品等の管理や支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お誕生日企画での外出やご家族も企画へ参加していただける様、声を掛けています。天気がいい日は外気浴をしたり、散歩が毎日の日課となっているお客様もおります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にて、ご自身で現金を持っている事お預かり金を施設内で預かる事は、行っておりません。企画時やお客様からのご要望、ご家族からのご要望がある際はご家族より同意を得て、施設の立て替えとして対応させて頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりは、手紙の投函依頼を受け職員が対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明交換は男性職員へ依頼し、難しい作業が伴う内容については、隣接する病院の修繕の担当者への依頼を行っている。四季を感じていただける様、フォト掲示や壁面の飾りを工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内にベンチやソファが置いてありお仲間や職員との楽しいおしゃべりに花をさかせる事もあります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用していた馴染みの物を持参していただける様、ご依頼を行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が自立し、危険が無いように生活が出来る様、動線の確保に注意をしています。手すり等の変更や追加も適直行っています。		